

おきみゆー通信

Okinawa Prefectural Museum and Art Museum News Letter

vol.17 秋号



アントニー・ヴァン・ダイク《ベットフォード伯爵夫人アン・カーの肖像》(1639年)

東京富士美術館所蔵 作品解説はp.2▶

あなたの沖縄に出会う



沖縄県立博物館・美術館
Okinawa Prefectural Museum and Art Museum



西洋絵画400年を読み解く！

この冬、東京富士美術館より17世紀から20世紀までの西洋絵画82点が沖縄にやってきます。それに先立ち5点の作品をご紹介します。

III. 風景画 landscape painting

私たちは風景を楽しみ、それが心を動かすとき、写真に撮ったり、絵に描いたりします。しかし、こうした態度は、昔から当たり前にあったわけではありませんでした。風景画というジャンルが確立するのは17世紀のことです。本作品は「ヴェドウータ(都市景観図)」と言われる絵画で、17~18世紀に見聞を広めるためイタリアを訪れたイギリス、ドイツなどの貴族の子弟が、旅の思い出に買い求めた風景画でした。現代でいう絵葉書や旅行写真のようなものでしょうか。まぶしい太陽光のもと、精密に描き出されたサン・マルコ広場は、現代の私たちの目にも活き活きと迫ってくるものがあります。



カナレット(ジョヴァンニ・アントニオ・カナル)
《ヴェネツィア、サン・マルコ広場》(1732-33年)

IV. 静物画 still-life

17世紀には、日常的な物をモチーフとした「静物画」も登場するようになりました。本作には薔薇、牡丹、カーネーションなど、主に春から初夏にかけての花が描かれています。しかし、本来これらの花々は同時に咲くことはありません。画面上で構成されたものであり、つまり作られた花の姿なのです。しかし作られた姿だからこそ、見る者をうつとりとさせる美しさをたたえているといえるでしょう。



ジャン=バティスト・モンワイエ《花》(17世紀)

【指定管理者】企画展

名画を読み解く－一珠玉の東京富士美術館コレクション－
美術館企画ギャラリー1・2 12/15(火)～2021/1/31(日)
主催：(一財)沖縄美ら島財団、沖縄テレビ放送(株)

I. 歴史画 history painting

左の作品は『旧約聖書』のアブラハムの物語を描いています。旅人として現れた三人の天使を、アブラハムは直ちに神の御使いと気づき、丁重にもてなします。その後、天使の予言通り、高齢のアブラハムと妻サラの間に、イサクという息子が生まれます。この物語は、6世紀のモザイク画にも表されるなど、古くから取り上げられた主題です。20世紀の画家シャガールも描いています。こうした宗教や神話を主題とした絵画は歴史画といって、西洋絵画のなかでは最も格が高いとされました。なぜなら、描く技術はもちろん、画家の知識や教養、構想力が必要とされたからです。

II. 肖像画 portraiture

[表紙の作品]
アントニー・ヴァン・ダイク
《ベットフォード伯爵夫人アン・カーの肖像》
(1639年)

肖像画は、歴史画の次に格が高いとされました。神や聖人が歴史画に描かれたとすれば、肖像画には王侯貴族や裕福な市民など世俗の人間が描かれました。基本的に公的なものとして描かれたので、そこにはモデルの地位や気位にふさわしい、理想的なあべき姿が表されました。本作は、その美しさで誉れ高かったというベットフォード伯爵夫人の肖像です。その可憐な美しさに誇張はないでしょうが、鈍く光る豪奢な衣装や大粒に輝く宝飾品、美しい巻毛などには、貴族としての気品や気高さが表わされています。



クロード・モネ《睡蓮》(1908年)

QRコード

名画を読み解く－一珠玉の東京富士美術館コレクション－
美術館企画ギャラリー1・2 12/15(火)～2021/1/31(日)
主催：(一財)沖縄美ら島財団、沖縄テレビ放送(株)

((一財)沖縄美ら島財団 学芸員 國吉 貴奈)

What's Social Distance?

おきみゅーは広い。だだっ広い。とにかく広い。私がおきみゅーに勤めてから3年になるが、企画展の準備の時期などにはスマートフォンの万歩計が20,000歩を超えることも珍しいことではない。こんなに広いおきみゅーで「ソーシャルディスタンス」をとるためのサインを掲示をしなさい、という指令が下ったのは世間が「新型コロナウイルスと共生していくを得ない」ことを認識し始めた5月中旬のことだった。

そもそも、するか？ 密集…。こんな広い空間であえて密着しているのはカップルか、まだ歩けないお子さんと親御さんくらいのものである。…。ああ、でも超絶密集していたこともあったつけ。それは昨年の夏、17万人を動員したジブリの大博覧会の時だ。新型コロナウイルスという単語に疲れてきた今日このごろは、あのころの光景を思い出すと「あれは夢かマボロシだったのかも」とさえ思えてくる。当時は人が一箇所に大勢集まるによる「将棋倒し事故」の対策に奔走していた。今後あれだけの人が密集する経験はしばらくできないのだと思うと、ちょっと切ない気持ちになってくるから不思議である。閑話休題。ソーシャルディスタンスを保つ掲示は館内中のソファに掲示されることになった。

「ソーシャルディスタンスを保ってください」と言葉で書いてお願いすることは造作もないことであるが、おきみゅーのような観光施設では「英語も併記」が必須となる。そして英語を併記すると今度は「繁体字でも」とか「簡体字でも」とか「ハングルでも」とかいう意見が「必ず」出てきて、掲示物はたちまち文字だらけになってしまう。なぜ、人はバベルの塔などというものを作ってしまったのだろうか？ 多言語表記を求められるたびにいつも思う。

長いこと海外に暮らしていた姉が日本に戻ってきたとき、視界に入る文字情報の多さにしばらく酔った、と言う話を聞いた。日本という国は「漢字、ひらがな、カタカナ、アルファ

コロナ時代の デザインについて 考える

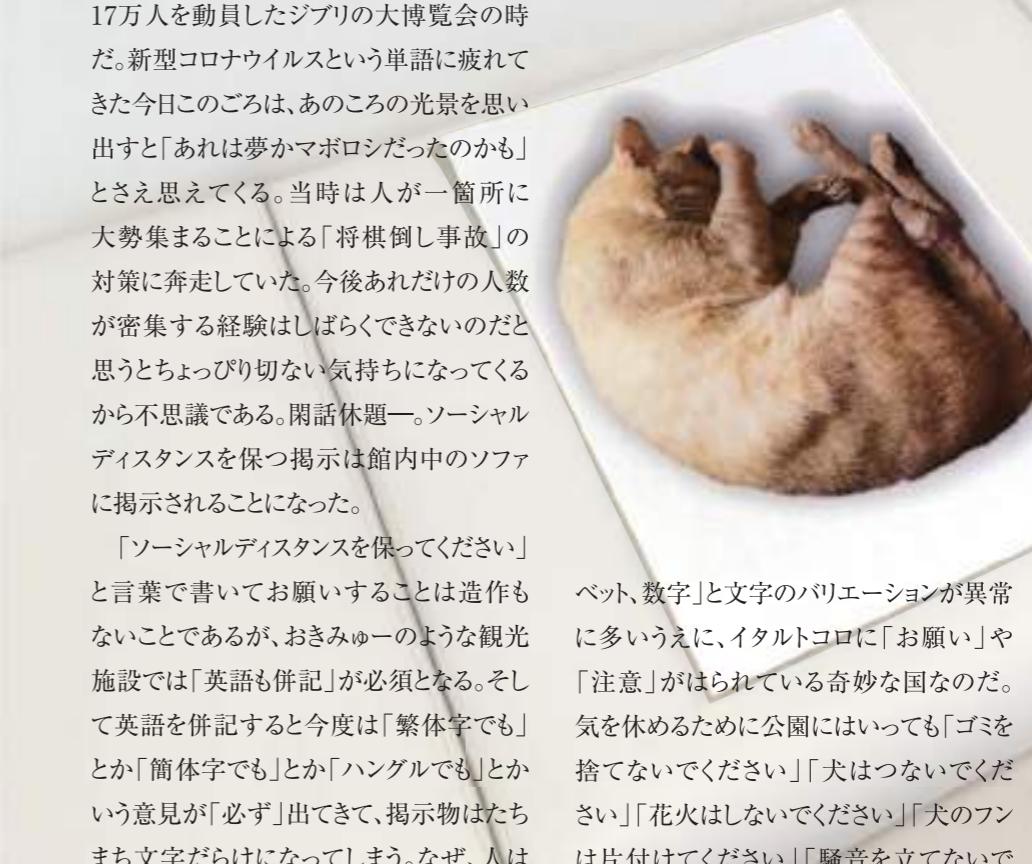
エッセイ

いるのはそのせいに違いない！と私は割と真剣に思っている。

そういう訳で、おきみゅーのソーシャルディスタンス啓蒙表示は「文字を一切使わずに」やってみることにした。まずは「座りたくないなる、あるいは座れなくなるシチュエーション」を考えてみる。「座ると服が汚れる、座ると呪いがかかる、座ると怪我をする…」これは博物館・美術館としてよろしくない。そこで「かわいそうでお尻で踏み潰せない」という気持ちに着目した。「間隔をあけて」の表記の代わりに椅子にヌイグルミをおいた銀行の取り組みをネットの記事で見つけた。ナイス。ナイスアイディア！しかしながらヌイグルミを買う予算もなければ、おきみゅーちゃんのヌイグルミも(まだ今のところ)この世に存在していない。代わりに「動物の写真」を置くことにした。動物の種類は何にするか？犬にするか？猫にするか？犬好きは「自分の飼い犬だけを可愛がる傾向」にあるのに對し、猫好きは「猫であれば野良猫だろうがライオンだろうが可愛がる習性がある」(渡久地調べ)点に着目し、「猫好きを味方につける」ことにした。こうして館の共用部分に「ニヤンモナイト」の写真を貼り付け5月21日の臨時休館明けを迎えた。開館後しばらく様子を見ていると多くの方がニヤンモナイトの意図を認識してくださり、微笑む人、写真を撮る人などが多かった。まれに、ニヤンモナイトの上に座ってしまう方もおられたがそれはそれでいいのだ。100%意図が伝わるデザインなどというのは存在しない。大数になんとなく伝われば成功だ。それから2ヶ月後、来館者によるニヤンモナイトの写真付きツイートがきっかけとなっておきみゅーのニヤンモナイトはついに「Jタウンネット」というネットメディアに紹介されるに至った。

何事も禁止禁止禁止！注意注意注意！で殺氣だっている今だからこそほっと一息つけるデザインを。今後はこのニヤンモナイトのモデルを広く公募し、「ソファでニヤンモナイト展」の開催を目指んでいる。

((一財)沖縄美ら島財団 学芸員 渡久地 雅代)



ベット、数字」と文字のバリエーションが異常に多いに見え、イタルトコロに「お願い」や「注意」がはられている奇妙な国なのだ。気を休めるために公園にはいっても「ゴミを捨てないでください」「犬はつないでください」「花火はしないでください」「犬の粪は片付けてください」「騒音を立てないでください」「飲酒はしないでください」「歩きタバコはやめてください」「ペットを捨てないでください」…とめちゃくちゃお願いをされるので全く気が休まらないのだ。これは非常によろしくない。きっと、意識していないてもあらゆるお願ひが潜在意識になだれ込んでいるのだ。昨今の日本人がだいぶ疲れて



いるのはそのせいに違いない！と私は割と真剣に思っている。

そういう訳で、おきみゅーのソーシャルディスタンス啓蒙表示は「文字を一切使わずに」やってみることにした。まずは「座りたくないなる、あるいは座れなくなるシチュエーション」を考えてみる。「座ると服が汚れる、座ると呪いがかかる、座ると怪我をする…」これは博物館・美術館としてよろしくない。そこで「かわいそうでお尻で踏み潰せない」という気持ちに着目した。「間隔をあけて」の表記の代わりに椅子にヌイグルミをおいた銀行の取り組みをネットの記事で見つけた。ナイス。ナイスアイディア！しかしながらヌイグルミを買う予算もなければ、おきみゅーちゃんのヌイグルミも(まだ今のところ)この世に存在していない。代わりに「動物の写真」を置くことにした。動物の種類は何にするか？犬にするか？猫にするか？犬好きは「自分の飼い犬だけを可愛がる傾向」にあるのに對し、猫好きは「猫であれば野良猫だろうがライオンだろうが可愛がる習性がある」(渡久地調べ)点に着目し、「猫好きを味方につける」ことにした。こうして館の共用部分に「ニヤンモナイト」の写真を貼り付け5月21日の臨時休館明けを迎えた。開館後しばらく様子を見ていると多くの方がニヤンモナイトの意図を認識してくださり、微笑む人、写真を撮る人などが多かった。まれに、ニヤンモナイトの上に座ってしまう方もおられたがそれはそれでいいのだ。100%意図が伝わるデザインなどというのは存在しない。大数になんとなく伝われば成功だ。それから2ヶ月後、来館者によるニヤンモナイトの写真付きツイートがきっかけとなっておきみゅーのニヤンモナイトはついに「Jタウンネット」というネットメディアに紹介されるに至った。

何事も禁止禁止禁止！注意注意注意！で殺氣だっている今だからこそほっと一息つけるデザインを。今後はこのニヤンモナイトのモデルを広く公募し、「ソファでニヤンモナイト展」の開催を目指している。

((一財)沖縄美ら島財団 学芸員 渡久地 雅代)

博物館企画展

沖縄の藍 —自然と人が織りなす製藍の技—

12/1—1/24
2020 1火 2021 24日博物館企画展示室、
特別展示室1一般 1,000(800)円、高校・大学生 600(480)円、小・中学生 無料
※()は前売および20名以上の団体料金
※障がい者手帳をお持ちの方およびその介助者の方1名は無料

ジャパンブルーとの別名もある「藍」。2020年東京オリンピック、パラリンピックのロゴではまさにこの藍色がメインカラーに用いられ話題になりました。日本では特に徳島県が有名ですが、沖縄にも古くから「琉球藍」による藍染が行われてきました。おきみゅー冬の博物館企画展は、「琉球藍」をはじめとする沖縄の製藍技術に着目した展覧会です。

沖縄では紅型や芭蕉布、琉球絣などで美しい藍色を見ることができますが、植物の藍が染料に至るまでにどのような工程があるのですか?

世界中に100種以上あると言われる含藍植物(藍成分をもつ植物)のうち、沖縄ではキツネノマゴ科のリュウキュウアイとマメ科のナンバンコマツナギ、タイワンコマツナギの3種が栽培され、タデ科のタデアイも一部地域で使われています。これらの植物を用いて藍を染める方法も幾つかありますが、沖縄では主に沈殿藍(俗称「泥藍」)に加工した染料を使っています。

その製造工程では、まずは良質のアイ葉を育てなくてはなりません。特にリュウキュウアイは栽培環境を選ぶため、育てるのがむずかしく、雨期にこれを刈り取って水に漬けこみ、葉っぱが溶け出す頃合いを見て葉っぱと浸漬液を分離します。つぎに、分離した液に適量の石灰を加えて激しく攪拌します。すると液の中の藍の成分が酸化されて沈殿します。しばらく静置して上澄み液を除き沈殿したものを泥状に濃縮して製品と

します。製藍工程では、良質の染料を作るため、微妙な発酵加減の見極め、石灰の量、攪拌時間などの勘所があり、そこに各製造者の経験や工夫で培われた技を見ることができます。

沖縄の藍の特徴と

これからについて教えて下さい。

藍は世界中を席巻してきた染料です。沖縄では15世紀後半の史料に藍染の記録が出てきますが、現在も残る製藍方法や製造場である藍壺の形状は、どれも中国や台湾のものと酷似し、技術の伝播を想起させます。沖縄の藍の特徴は、個人的には戦後も途絶えずに現在まで製藍の

技が引き継がれたことだと思います。戦後沖縄では藍を生業にする製造者は激減しましたが、昭和40年代後半から故伊野波盛正氏の手によって大規模な琉球藍の製造が始まり、天然の藍染料が伝統染織の中に生き続けました。そして今、その素地の



出来上がった琉球藍

もで藍づくりに真摯に向き合い、新しい道を切り開こうとする若者が増えています。ある意味で過渡期にある現在、本展覧会が沖縄の藍の魅力と将来性について語る機会になればと思います。

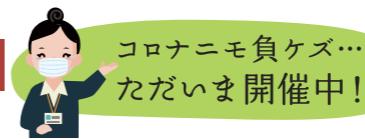
(担当学芸員 大湾 ゆかり)

博物館企画展

大嶺 薫
コレクション展12/1—1/24
2020 1火 2021 24日博物館特別展示室2
一般 530(420)円、高校・大学生 270(220)円、
小・中学生(県外)150(120)円
※博物館常設展の観覧券をご覧いただけます。
※()は20名以上の団体料金
※県内の小・中学生、70歳以上の方は無料
※身がいき者手帳をお持ちの方と介助者の方1名は無料

資料の魅力を語る大嶺 薫氏

美術館企画展



稻嶺成祚展

きごうの、ふうけい。

9/18—11/3
2020 金 火祝 企画ギャラリー1・2一般 1,100(880)円、高校・大学生 500(400)円、小・中学生 200(160)円
※()は20名以上の団体料金
※障がい者手帳をお持ちの方、および介助者の方1名は当日料金の半額

戦後の沖縄美術を代表する作家を紹介する「沖縄の美術シリーズ」。第8回となる今回は美術と教育の両方で活躍されている画家・稻嶺成祚(いなみね・せいそ、1932-)を紹介しています。

子どもが描く記号的な絵でも、意味が伝わる。そこに具象絵画の根源と可能性を見出した稻嶺は、「何を描くかも大事だが、どのように

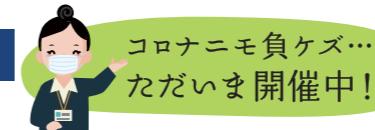


『太陽と5人の家族』2002年、沖縄県立博物館・美術館蔵

描くかの方に、より重大なメッセージが入る」と語り、独自の様式を作り出そうと試みます。本展では、60年を超える画業の中で1600点以上の絵を描いてきた画家の変遷をたどる、94点の作品を紹介します。

(担当学芸員 大城 さゆり)

博物館特別展



岩石

-石ころから見える地球のダイナミズム-

9/8—11/15
2020 火 15日 博物館企画展示室、
特別展示室1・2一般 1,100(880)円、高校・大学生 800(640)円
※()は20名以上の団体料金 ※中学生以下無料
※障がい者手帳をお持ちの方、および介助者の方1名は当日料金の半額

岩石展オススメの一品。ズバリ全ての岩石と言いたいところですが、一点に絞るのであれば右の標本でしょうか。この標本は数十年前に名護市で採取され、最近当館へ寄贈されました。大きさは横幅30cm程ですが、砂岩と泥岩からなる層が大きく褶曲しており、この岩石を割り出した地球のダイナミズム(秘めた力)が感じられます。岩石展では地球最古の岩石から、最近できたばかりの岩石、人々を魅了する宝石、島々の岩石、古の人々が利用した石器、歴史や美を刻んだ石彫物まで、様々な岩石鉱物と石造物を展示しています。中にはしゃべる石?もありますよ!先が見えない世の中になつて

いますが、岩石を通して、自然と人間との関わりを振り返り、少しでも明るい気持ちになつただけたらと思います。ぜひご家族でご覧下さい。(担当学芸員 宇佐美 賢)

褶曲した
岩石の標本

関連イベント

10/31 土 沖縄の石割り体験と
黒曜石のペンダント作り

11/1 日 まちなかジオツアー

11/3 火・祝 沖縄の土で作るクレヨンで絵を描こう

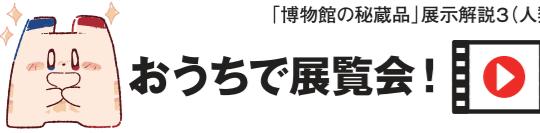
11/7 土 沖縄本島北部の自然観察へ行こう!
本部半島周辺～嘉津宇岳などなど楽しい関連イベントが
盛りだくさんです! 詳しくはこちら▶



新型コロナウイルス感染症の拡大で未曾有の危機に直面し、おきみゅーでもその影響で「触れる展示」が中止になったり、数々のイベント企画がお蔵入りになってしましました。人と距離をとる、マスクを着用するといった「新しい生活様式」が至るところで求められるなか、全国の博物館・美術館でも「新しい館のあり方」について模索が始まっています。このコーナーではおきみゅーの新たな試み「おうちでおきみゅー」について紹介します。



「博物館の秘蔵品」展示解説3(人類)より



夏休みの大きな企画展が軒並み中止となり、他の博物館・美術館から「展示品を借用してくる」ことも困難となりました。そのような状況下でおきみゅーの学芸員たちが急遽企画したのが「緊急企画！博物館の秘蔵品」展でした。8/10(月・祝)まで開催される予定が、新型コロナウイルスの流行第2波の影響をうけて8/1(土)で残念ながら最終日を迎えることになりました。多大な労力をかけて展覧会を準備したにもかかわらず、突然終わりを迎ってしまった展覧会一。不完全燃焼の学芸員の思いを動画「家で楽しむ博物館の秘蔵品」に込めました。

地学、生物、歴史、考古、人類、美術工芸、民俗の7つの分野の展示についてそれぞれの学芸員が解説しています。普段はなかなか展示室に出てこない「秘蔵品」は必見です。ぜひご覧ください。

「おうちでおきみゅー」を
楽しもう！



「おうちで研究&あそぼ♪」へ
今すぐアクセス！

ふれあい体験室で大人気のワークショップを おうちでも楽しめます！

ふれあい体験室でづくりおもちゃ vol.3
馬グワー制作キット

毎年恒例の人気シリーズ「ふれたい博士のでづくりおもちゃ」「ペーパービーズでアクセサリーづくり」が、制作キットになってミュージアムショップゆいむいに登場！

おもちゃの材料と作り方シートがセットになった商品で、「ハブグワー」「星コロ」「馬グワー」「ペーパービーズ」の4種類をご用意しています。

ペーパービーズは作り方を動画でも紹介しています。上のQRコードから「おうちで研究&あそぼ♪」にアクセスしてね！ご家族と一緒に、友達と一緒に、おもちゃを作つておうち時間を楽しく過ごしましょう♪

ミュージアムショップゆいむいで販売中！馬グワー制作キット

毎月楽しいイベント
が盛りだくさん
だみゅ～

10・11・12月のイベント情報



博物館

文化講座

無料

[各回] 時間 14:00～16:00 場所 講堂 定員 100名
※事前申込。定員など詳細はHPやチラシをご確認ください。

10/17土 恐竜が見た森—琉球列島とつながること

講師 寺田 和雄 氏 (福井県立恐竜博物館)

11/14土 ミクロネシアの考古学(仮)

講師 山野 ケン陽次郎 氏 (熊本大学埋蔵文化財調査センター)

12/19土 世界の藍と沖縄の藍(仮)

講師 井関 和代 氏 (大阪芸術大学)

博物館 学芸員講座

無料

[各回] 時間 14:00～16:00 (開場13:30) 場所 博物館講座室 定員 50名
※事前申込。定員など詳細はHPやチラシをご確認ください。

10/10土 歯のはなし 講師 澤浦 亮平 [人類]

11/7土 フィールドツアー①
11/7の学芸員講座は博物館の外へとび出そう！
沖縄本島北部の自然観察へ行こう！

講師 宇佐美 賢 [地学] 菊川 章 [生物]
参加費 50円 ※保険料として※フィールドツアーの定員は15名となります。

12/12土 八重山の年中行事と供えもの

講師 阿利 よし乃 [民俗]

博物館常設展 展示解説会

無料

[各回] 時間 14:00～15:00 場所 博物館常設展示室 定員 10名
※当日先着 ※当日有効の常設展観覧券が必要

10/8木 人類 **11/12木 考古** **12/10木 生物**

講師 澤浦 亮平 講師 山本 正昭 講師 菊川 章

バックヤードツアー

無料

[各回] 時間 14:00～15:00 集合場所 ふれあい体験室前 定員 6名
※当日13:00より総合案内で受付

10/31土 考古 **11/28土 生物** **12/26土 民俗**

講師 山本 正昭 講師 菊川 章 講師 阿利 よし乃

ふれあい体験室ワークショップ [10月～12月]

毎週土曜 開催 岩石展関連催事
天然石のブレスレットづくり

時間 1回目 10:00 2回目 10:45 3回目 11:30 ※所要時間45分

場所 ふれあい体験室前 定員 18名 (各回6名)

参加費 400円 ※事前申込



美術館

「コレクション展」関連催事

11/7土 キュレータートーク+学芸員講座

講師 亀海 史明 時間 14:00～15:30 (開場13:30)

場所 美術館講座室、コレクションギャラリー 定員 30名

※事前申込 ※当日有効の美術館コレクションギャラリーの観覧券が必要

「子どもの情景展」関連催事

11/28土 ギャラリートーク+学芸員講座

講師 豊見山 愛 時間 14:00～15:30 (開場13:30)

場所 美術館講座室、コレクションギャラリー 定員 30名

※事前申込 ※当日有効の美術館コレクションギャラリーの観覧券が必要

「稻嶺成祚展」関連催事

10/3土 学芸員によるギャラリートーク

講師 大城 さゆり (展覧会担当学芸員) 時間 14:00～15:00

場所 美術館企画ギャラリー 定員 20名

※事前申込 ※当日有効の企画展観覧券が必要

10/24土 クロストーク

講師 稲嶺成祚 氏 崎山律子 氏 他調整中

時間 14:00～16:30 場所 講堂 定員 100名

美術館ミュージアムツアーア

無料

11/3土 担当 梶原 正史 (保存管理担当学芸員)

時間 10:30～12:00 (10:20までに「美術館ホワイエ」集合)

定員 12名 ※10/3 (土) から来館、電話にて受付開始

『OKINAWA』アートワークショップ2020

10/17土 六角形の壺をつくろう

時間

9:30～12:00

参加費

1,000円

講師 益田 伸次 氏 (現代の名工)

岩本 久和 氏 伊波 孝氏 下地 智氏

11/7土・8日 漆喰シーサーに挑戦！

時間

10:00～15:00

(12:00から1時間休憩)

※2日間必ず参加できる方に限ります

講師 【現代の名工】山城 富画氏 大城 幸祐氏

沖縄県琉球赤瓦漆喰施工協同組合

参加費

2,200円

12/19土 干支紅型でお正月支度

時間

(午前の部) 10:00～12:00

(午後の部)

14:00～16:00

講師 山城 信吾 氏 吉濱 愛氏 (城紅型染工房)

参加費 タペストリー 3,500円 マット 2,000円

2020 11.3 火曜・文化の日

誕生祭 おきみゅー

Happy Birthday!

この誕生祭は、お客様の健康と安全を考慮して、いつもより規模を縮小し、感染予防策を十分に講じた上で開催します。また、文化の日にちなみ、「博物館常設展」と「美術館コレクション展」の観覧が終日無料となります！こんなときだからこそ！11月3日は、おきみゅーでゆつたり「芸術の秋」を堪能しませんか？

11月3日（火）文化の日に「おきみゅー誕生祭2020」の開催が決定しました！沖縄県立博物館・美術館（おきみゅー）がおもろまちに誕生して13年。。。今年は新型コロナウイルスの影響により、当館でも様々な展覧会やイベントが中止・延期を余儀なくされています。

『常設展 & 美術館コレクション展 クイズラリー』『ふしき発見！常設展探検ワークシートを完成させよう』『プロムナードコンサート in おきみゅー誕生祭』など

※イベント内容が予告なく変更・中止になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

各イベントの詳細はおきみゅーのウェブサイトでチェック!!

誕生祭イベントメニュー

QRコード

OkiMu おきみゅー こどもフェスタ秋 2020

～楽しく学べる3日間～

「こどもフェスタ秋2020」開催！博物館と美術館では、10月31日、11月1日、11月3日の3日間にかけて、小中学生向けのものづくり体験教室「こどもフェスタ2020」を開催します。「おきみゅー誕生祭」と同時開催！イベントづくしの3日間！

開催場所：県民アトリエ・こどもアトリエ

美術館 モノづくりの楽しさを美術館で体験しよう！

10/31 土 1 ヒーボー山羊博士！～学んで作って撮影会～
2 首里城の瓦でこねてねじってつくも神！

博物館 おもしろくてためになる学芸員教室！ 開催場所：博物館実習室

10/31 土 3 剥いて磨いて、勾玉つくり体験
4 石と友達になろう！
11/1 日 5 手羽先で骨格標本を作ろう！
6 動物の歯の石膏レプリカを作ろう！
11/3 火曜 7 貝の矢じりを作ろう！
8 沖縄の土で作る
クレヨンで絵を描こう！
9 動物の歯の
石膏レプリカを作ろう！
10 貝の矢じりを作ろう！

ホームページから応募票をダウンロードしよう！▶▶▶

QRコード



[開館時間] 9:00～18:00 (金曜日・土曜日は20:00まで)
※入館は閉館30分前まで

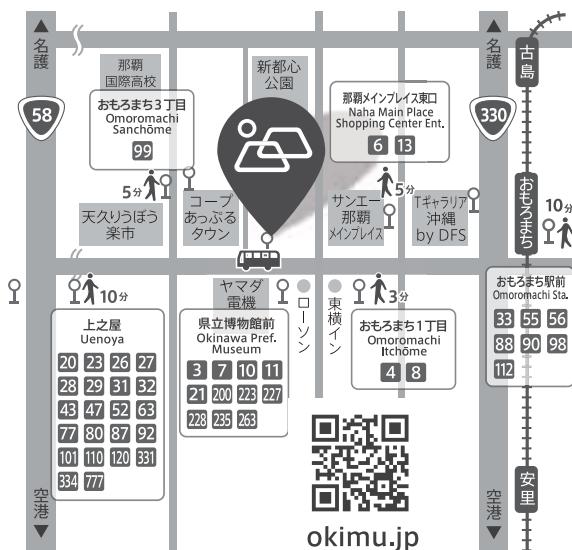
[休館日] 月曜日 (月曜日が祝日にあたる場合は開館し、翌平日が休館)
※休館日は変更することがあります。
当館ホームページをご覧ください。

[ホームページ] <https://okimu.jp>



来館する皆様へのお願い

- ◆発熱や風邪、体調がすぐれないお客様は来館をお控えください。
- ◆マスク着用をお願いします。
- ◆こまめな手洗い・手指消毒にご協力ください。
- ◆展示室内では、他のお客様と間隔(2m程度)を空けてご観賞ください。また、展示室内の混雑をさけるため、やむを得ず入場制限を行う場合があります。



アクセス

駐車場は台数が限られていますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【ゆいレール】おもろまち駅下車（徒歩10分）

編集後記 | 9/6(日)に長かった臨時休館があけ、9/8(火)に岩石展、9/18(金)に稲嶺成祚展と企画展が続々オープンしました。未曾有の感染症流行によって縮こまっていたココロがゆっくりふわ～っと開くようで不思議と景色が明るく見えました。博物館・美術館はもともと広い空間で、「密」になることはそうそうありません。また収蔵品のために虫やカビが発生しないよう管理清掃を徹底しているので環境もきれいです。ご来館のお客様には手指の消毒やマスクの着用にご協力いただいているので、みなさまにおかれましては安心してご来館いただきたいと、スタッフ一同首を長くしてお待ちしております。(沖 美宇)

沖縄県立博物館・美術館 季刊誌

おきみゅー通信 vol.17 秋号

T900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1

TEL 098-941-8200 (代表)

[発行日] 2020年10月10日

[編集・発行] 沖縄県立博物館・美術館 指定管理者
一般財団法人 沖縄美ら島財団

今号の「おきみゅー通信」いかがでしたでしょうか？ぜひ、みなさまの声をお聞かせください。編集担当が喜びます。ご回答いただいたご意見は今後の「おきみゅー通信の企画・連載」「企画展やイベント」等に活用させていただきます。本アンケートにご回答いただいた方の中から、抽選で3名様に「名画を読み解く－珠玉の東京富士美術館コレクション－」の招待券(ペア)をプレゼントいたします。

なお、当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

アンケートはこちらから！▶

